

事務事業名	29756 芸術文化振興事業														
担当組織	市民生活部					文化スポーツ課					担当	文化担当			
組織コード	R4	13	10	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R4	01	02	01	18	01	01	記入日	令和 4年 6月28日	
	R3	13	10	00		R3	01	02	01	18	01	01			

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補			
基本目標・考え方	02	創造性や豊かな心を育むまち						再掲施策				○ 対象		
施策	06	芸術文化活動の推進									● 対象外			
事業期間	平成20年度～令和12年度													
根拠法令 通達等	社会教育法					関連計画 施政方針		戸田市生涯学習推進計画						
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの													
強靱化計画	<input type="checkbox"/> リスクシナリオ番号：													
総合戦略	<input type="checkbox"/> 施策番号：													
対象	市民等													
事業目的	文化芸術活動の振興、推進を図る。													
事業内容	文化祭、音楽祭、美術展覧会の開催及び文化活動団体の支援。													
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input checked="" type="checkbox"/> 協働・協力 (実行委員会)													
行財政改革 の取り組み														

2. 事業費 <DO>

		令和3年度 執行額(千円)	令和4年度 予算額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	令和7年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	主な事業内容	芸術文化振興 事業	芸術文化振興 事業	芸術文化振興 事業	芸術文化振興 事業	芸術文化振興 事業	
	事業費	1,613	4,261	4,261	4,261	4,261	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,613	4,261	4,261	4,261	4,261
	人件費	10,386	10,386	10,386	10,386	10,386	
	投入 人員	常勤職員	1.5人	1.5人	1.5人	1.5人	1.5人
		非常勤職員	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人
事業費+人件費		11,999	14,647	14,647	14,647	14,647	

3. 目標達成状況 <CHECK>

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動①	補助件数	文化祭、音楽祭、美術展覧会の開催への補助	件	3	3	3	3
	事務事業成果①	実施団体数	文化祭、音楽祭のプログラム・事業実施団体数	人	25	25	25	25
	事務事業成果②	一日平均来場者数	戸田市美術展覧会への一日平均の来場者数	人	373	375	377	379
目標達成状況の分析		B：いずれかの目標を達成した。 <判断理由> 活動については目標を達成したが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった事業があり、成果の達成には至らなかった。						

4. 評価結果 <CHECK>

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	1年度	2年度	3年度	B：施策の目標達成に貢献している。 <判断理由> 事業を実施することで、施策目標の達成に貢献が可能となる。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	1年度	2年度	3年度	B：経費は適正な範囲である。 <判断理由> コストを削減しながら、効率的な運営を実施している。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	1年度	2年度	3年度	B：事業手法は適正な内容である。 <判断理由> 実行委員会や指定管理者等と協働しながら実施している。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	1年度	2年度	3年度	B：受益・負担は適正な範囲である。 <判断理由> 受益者に負担を求めながら、事業を実施している。

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 <ACTION>

令和3年度に実施した取組内容・効果	
令和4年度に実施する取組内容	

6. 令和5年度の方向性・取組方針 <ACTION>

事業の方向性・取組方針	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和5年度で終了 <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了
	<方向性の判断理由・取組方針> コロナ禍においても実施方法等を検討し事業を実施できるよう検討する。

事務事業名	21182 文化会館管理運営費													
担当組織	市民生活部				文化スポーツ課				担当	文化担当				
組織コード	R4	13	10	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R4	01	02	01	18	02	01	記入日	令和 4年 6月28日
	R3	13	10	00		R3	01	02	01	18	02	01		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ										実施計画候補			
基本目標・考え方	02	創造性や豊かな心を育むまち						再掲施策	10			● 対象	
施策	06	芸術文化活動の推進										○ 対象外	
事業期間	平成17年度～令和12年度												
根拠法令 通達等	・戸田市文化会館条例 ・戸田市文化会館条例施行規則						関連計画 施政方針						
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの ● 自治事務のうち任意のもの												
強靱化計画	■ リスクシナリオ番号：1-4、3-1												
総合戦略	□ 施策番号：												
対象	施設の利用者等												
事業目的	文化、芸術の推進等、文化会館を効果的、効率的に管理運営する。												
事業内容	文化、芸術の推進等を図るための文化会館の管理運営。												
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 ■ 委託 (■ 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()												
行財政改革 の取り組み													

2. 事業費 <DO>

		令和3年度 執行額(千円)	令和4年度 予算額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	令和7年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	主な事業内容	文化会館管理 運営費	文化会館管理 運営費	文化会館管理 運営費	文化会館管理 運営費	文化会館管理 運営費	
	事業費	234,568	236,449	236,449	236,449	236,449	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	226	226	226	226
		一般財源	234,568	236,223	236,223	236,223	236,223
	人件費	10,386	10,386	10,386	10,386	10,386	
	投入 人員	常勤職員	1.5人	1.5人	1.5人	1.5人	1.5人
		非常勤職員	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人
事業費+人件費		244,954	246,835	246,835	246,835	246,835	

3. 目標達成状況 <CHECK>

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動①	文化事業数	指定管理業務で実施する文化事業数	回	7	14	14	14
	事務事業成果①	文化事業の鑑賞者数	指定管理業務における文化事業の年間鑑賞者数	人	6	20,165	20,165	20,165
	事務事業成果②	参加者数	指定管理業務における文化事業の年間参加者数	人	13,492	—	—	—
	強化KPI①	実施回数	指定管理者へのモニタリング実施回数	回	47	96	98	100
					33	—	—	—
					5	5	5	5
C: 全ての目標が達成できなかった。								
目標達成状況の分析				<判断理由> 新型コロナウイルス感染症の影響により、目標数の事業が実施できなかった。よって、活動、成果ともに達成できなかった。				

4. 評価結果 <CHECK>

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	1年度	2年度	3年度	B: 施策の目標達成に貢献している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	B	B	B	B: 経費は適正な範囲である。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	B	B	B	B: 事業手法は適正な内容である。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	B	B	B	B: 受益・負担は適正な範囲である。
				<判断理由> 芸術・文化活動を行うための拠点整備を行うことができるため。
				<判断理由> コスト削減や効率化など適正な運営に努めている。
				<判断理由> 指定管理者と協働し、運営にあたっている。
				<判断理由> 利用者から施設使用料を徴収し、受益者負担を図っている。

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 <ACTION>

令和3年度に実施した取組内容・効果	
令和4年度に実施する取組内容	

6. 令和5年度の方向性・取組方針 <ACTION>

事業の方向性・取組方針	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和5年度で終了 <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了
	<方向性の判断理由・取組方針> 新型コロナウイルス感染症の影響が大きいのが、実施可能な方法を検討し、事業展開できるよう検討していく。

事務事業名	7247 文化財保護事業													
担当組織	教育委員会					生涯学習課					担当	郷土博物館担当		
組織コード	R4	62	10	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R4	01	10	04	04	01	01	記入日	令和 4年 6月17日
	R3	62	10	00		R3	01	10	04	04	01	01		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補			
基本目標・考え方	02	創造性や豊かな心を育むまち						再掲施策				○ 対象		
施策	06	芸術文化活動の推進										● 対象外		
事業期間	平成17年度～令和12年度													
根拠法令 通達等	文化財保護法・戸田市文化財保護条例・戸田市文化財保護条例施行規則					関連計画 施政方針		戸田市生涯学習推進計画						
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの													
強靱化計画	<input type="checkbox"/> リスクシナリオ番号：													
総合戦略	<input type="checkbox"/> 施策番号：													
対象	全市民、学校、各種団体													
事業目的	市の文化財の保護・継承活動及び活用を図り、市民の郷土に対する愛護精神を深め、文化の向上に資するように努める。													
事業内容	文化財の調査、保護活用の充実。文化財学習指導者及び郷土文化の後継者等の育成。郷土学習活動充実。埋蔵文化財発掘調査の実施。埋蔵文化財の整理および報告書作成業務。													
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()													
行財政改革 の取り組み	該当なし													

2. 事業費 <DO>

		令和3年度 執行額(千円)	令和4年度 予算額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	令和7年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	主な事業内容	文化財保護事業	文化財保護事業	文化財保護事業	文化財保護事業	文化財保護事業	
	事業費	7,177	10,669	10,669	10,669	10,669	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	6	6	6	6
		一般財源	7,177	10,663	10,663	10,663	10,663
	人件費	7,754.88	6,716.28	6,716.28	6,716.28	6,716.28	
	投入 人員	常勤職員	1.12人	0.97人	0.97人	0.97人	0.97人
		非常勤職員	1.4人	1.38人	1.38人	1.38人	1.38人
事業費+人件費		14,932	17,385	17,385	17,385	17,385	

3. 目標達成状況 <CHECK>

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動①	文化財に関する講座の開催回数	回	5	3	3	4	5
				2		—	—	—
	事務事業成果①	文化財に関する講座の受講者数	人	70	60	60	70	80
				32		—	—	—
						—	—	—
						—	—	—
目標達成状況の分析	<p>C：全ての目標が達成できなかった。</p> <p><判断理由> 文化財に関する講座については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、講座の事業規模を縮小しての実施とせざるを得なかったこともあり、開催件数及び受講者数とも目標を達成することができなかった。 なお、令和4年度行政評価の実施に当たり、本事務事業における文化財講座関連予算の措置状況と今後の年度事業計画を改めて精査した結果、令和4年度以降の活動指標及び成果指標の目標値の修正を行った。</p>							

4. 評価結果 <CHECK>

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	1年度	2年度	3年度	B：施策の目標達成に貢献している。 <判断理由> 広報特集記事での市内文化財の周知や、それに合わせる形での文化財講座の開催により、市民等が市の歴史や文化に触れる機会を提供していることから、施策の目標達成に貢献している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	1年度	2年度	3年度	B：経費は適正な範囲である。 <判断理由> 市内における埋蔵文化財の試掘確認調査、本発掘調査等に係る費用は適正な範囲である。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	1年度	2年度	3年度	B：事業手法は適正な内容である。 <判断理由> 文化財保護法等の法令に基づき、市の事業として適正に実施している。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	1年度	2年度	3年度	B：受益・負担は適正な範囲である。 <判断理由> 埋蔵文化財については、国・県の方針に従い、営利を伴う開発行為を起因とした発掘調査の場合は、原因者負担の原則に基づいて、発掘費用は開発事業者負担としており、適正な範囲である。

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 <ACTION>

令和3年度に実施した取組内容・効果	該当なし
令和4年度に実施する取組内容	重点戦略2 テーマ① 取組名：デジタル化による市内文化財周知の取組 内容：中央図書館指定管理者との連携事業として、デジタルアーカイブシステムによる「戸田市史ある記マップ（文化財案内地図）」のデジタル化を行い、市民等への文化財の公開・活用を推進する。

6. 令和5年度の方向性・取組方針 <ACTION>

事業の方向性・取組方針	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和5年度で終了 <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了
	<方向性の判断理由・取組方針> これまで継続して実施してきた文化財保護事業については、関係法令に基づき引き続き適正に実施していく。 また、埋蔵文化財については、関係法令を遵守しながら埋蔵文化財の記録・保存に努めていくとともに、発掘調査報告書を順次刊行することで資料の公開・活用を図る。 今後も市の事業として、文化財の保護と公開・活用を効果的に行っていく必要がある。